



あ

だ

お

よ

ば

り



Vol. 45
情報管理広報委員会

第14回 あおば祭開催される

平成から令和へ、令和元年は天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位のという記念の年でした。新たな年号「令和」となりあおば病院では第14回のあおば祭を開催することができました。今年も春からむたゆうじさんが準備を始めてくださいました。むたさんからのオファーになんと今年は“もっちゃんTVの本橋馨さん”、童謡歌手の“沖吉けい子さん”、“全国チンドン大会日本一”“宮崎の花ふぶき一座”、が来ていただきました。



本橋さんには“熊本ルーツ物語”という講談を披露していただきました。“ばってん荒川さんの生い立ちについて紙芝居のようにわかりやすく説明していただきました。親族の方も来院され披露されたことに関して感謝されていました。

むたさん、沖吉けい子さんの懐かしい歌と笑い。チンドン屋さんの軽快なリズムと華麗な技は普段見ることができません。とても楽しい時間を過ごすことができました。各事業所からはおいしい唐揚げやケーキ、パン、焼き菓子、綿菓子、アクセサリ、〇八ホルモンの焼うどん、リサイクル品などたくさんの品物を準備していただきました。午後からは日向ひょっとこ踊り（肥後笑福会宇城支部）、豊野なでしこさん、チロリンクラブさんの踊り、空手道七生会さんの空手の演武、SKYさんの吹奏楽など毎年のことながら時間いっぱいまで披露していただきました。

入院の患者さん、地域の皆さんに喜んでいただこうと職員、ボランティアのみんなであおば祭を行うことができました。「みなさまのおかげ、感謝して」のテーマ通り全ての方々に感謝です。



＜あおば祭実行委員会 事務局：桐原 聡＞

認知症市民フォーラム in うき2019 開催される

令和元年11月9日に「宇城市認知症を考える会」（宮本英七会長）が共催する認知症市民フォーラムin うき2019がウイングまつばせにて開催されました。

会場には、466人の方々にご来場いただきました。オープニングアクトでは、うきうき劇団による「俺たちが支えにゃ、どぎゃんするか？」をテーマにした認知症劇が行われ、コミカルな演技で会場には笑いが広がりました。

基調講演では、認知症サポート壺行の会 相談員 福田人志氏と代表 中倉美智子氏より、「認知症になっても、みんなと共に生きるために」というテーマでご講演いただきました。自身が若年性アルツハイマー型認知症であることに触れ、病気になった当時の思いや、苦悩、周りの方々の支えなど貴重なお話を聞くことができ、本人の思いを重視した「当事者視点の認知症支援」が大切だということに改めて気づかされました。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



＜診療連携科：宮崎 梢子＞

人命救助で表彰を受ける

認知症治療病棟の朝6時から勤務しているプラチナナース（定年退職前後で働く看護職）の木村則敏さん、病棟でも患者さんの看護や機能訓練に大活躍ですが、この度人命救助されました。

去る令和元年9月23日美里町にあります温泉施設でご本人はゆっくり湯船につかっていると隣の浴槽でおぼれていた男性を発見、すぐに引き上げ心臓マッサージを施し一命を取り止めた事で宇城消防署長から表彰されました。

今年、古希を迎えられる木村さんですが、看護師の大先輩として目の前で起こった緊急事態を冷静に判断され的確な処理をされたこと、尊敬の念で、あおば病院の職員一同誇りに思っています。今後も引き続き頼りにしています。



〈看護部長：花園 美佐子〉

第3回 リフレクティングセミナーに向けて

新年明けましておめでとうございます。令和2年となりまして、1月11日土曜日に、熊本県総合福祉センターにて「第3回リフレクティングセミナー」が開催されます。

当院が事務局として、昨年から準備を進めてきているものです。リフレクティングとは、ノルウェーの精神科医であるトム・アンデルセンによって1985年に考案された、きわめて独創的なコミュニケーションに関する理論と実践です。オープンダイアログ（開かれた対話）の成果が世界を驚かせていますが、その丁寧な対話の基軸と言えるのがリフレクティングでしょう。

定員が100名程の会場ですが、締め切りを待たずして応募や問い合わせが殺到し（うれしい悲鳴ですが）、申し訳ないことですが出席をお断りせざるを得ない反響振りです。

11日は、県内のみならず、九州各県や中国、関西地方へ及んだ参加者が参加される予定です。オープンダイアログやリフレクティングの勢いに驚かされている所です。

しかし、リフレクティングの第一人者の矢原先生（熊本大学）も、流行だけに動かされる事に危惧をされておられるように、リフレクティングの本質を大事に、見誤らないようにしたいと思っています。

私自身、この丁寧な会話の勉強を重ねる中で、心地のよい会話、会話の「間」の大事さなどを考えるようになりました。その様な中で、第3回セミナーがご参加のみな様にとって心地のよい場となれるよう、最終準備をして行きたいと思っています。そして、セミナー当日は、ご参加の皆さまとしっかりリフレクティングの心地よさを堪能し、私自身も更に勉強してきたいと思っています。

また、このような機会を通して、日本各地の皆さまとも交流の機会を得、熊本にリフレクティングの文化が醸成されること、また熊本に留まらず、リフレクティングの文化が広がっていく事を期待しています。



第3回 リフレクティングセミナーのお知らせ

令和2年 1月11日（土）9:30～16:35

会場：熊本県総合福祉センター（5階研修ホール）

〈心理科 科長：上野 麻実〉



病院の理念

- 「ひと」 その人らしさを大切に
 「こころ」 こころのリハビリを通して
 「和」 地域に和をひろげます

病院の基本方針

- 一、人権の尊厳 こころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族に、やさしさと思いやりの心で接します
- 一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ努力を続けます
- 一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、より質の高い医療サービスを提供します
- 一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通じた生活活動支援に積極的に関与します

病院所在地 & アクセスマップ



医療法人社団 明心会

あおば病院

精神科・心療内科

〒869-0513

熊本県宇城市松橋町萩尾2037番地1

TEL : 0964-32-7772

FAX : 0964-32-7333

E-mail : aoba2120@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://www.aoba-hospital.jp>